

# 教育新報

定 價 1部 140円(本体133円+共20円)  
予約購読料 1年分 合計 5,000  
紙代のみ 3,500  
振替 00140-9-1452  
本紙を購読ご希望の方は、前金を  
そえて、お近くのキリスト教書店  
へお申し込み下さい。  
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546  
FAX03(3207)3918  
発行人 内藤留幸  
編集主筆 竹澤知代志  
印刷所 株式会社かんし



石橋秀雄教団総会議長とともに、台湾からの参加者

「神様の圧倒的勝利だったEYEP（青年交流プログラム）でした。私は始まる前、不安でもがいていたんですけど、もう神様に負けました」。青年参加者の一人の声である。

## ユースミッション 2012

「キリストと教会に仕える」を主題に

共に札揮をささげ、講演に聞き、交わり

台湾のある青年は「この交わりのなかにイエス様がおこなつべきこと」を応募者の中から選ばれた

台湾からの参加者は、80  
応募者の中から選ばれた

今回、台灣からの参加者は男性3名、女性4名。80名以上の応募者の中から選抜された7名の参加を得た。迎える日本からの全日程参加者は4名、部分参加2名、そのうちの楊司弘兄と廣中佳実姉がプログラム全体を通じて通訳の任にあつた。

阪教会で歓迎礼拝。礼拝の司式、説教は岡村恒牧師(教団常議員)。大阪教会の礼拝堂で共に神のみ言葉の前に額づことからすべては始まる。

また、台湾に造詣の深い牧師との出会いに台湾の青年たちの緊張も解かれ、喜びも深まる。

アミリーも交えて行われた。台湾青年たちより、クイズ形式によって台湾の紹介なども盛り込まれ和やかな時を過ごす。

表立ったプログラムではないが、ユースミッションのプログラム中、毎朝・毎晩青年たちによるシェアの時間を持っていた。日本の青年、台湾の青年、それぞれによる証し、恵みの振り返りの時を持ち、共に祈りを合わせる。それらの証しを通して、国を越えて青年特有の悩みや将来への夢があることを再認識させられる。神に祈り支えられていこうとに望みをおいていきたいと、互いにやわらかな信仰に触れ合う貴重な時間を重ねていった。

本にも多くの青年キリスト者があることを台湾の青年たちに知つてもらつた。共に礼拝をささげてきた。講演に聞き、交わりの時を持つ。

「年下の年上の人たちが、東京近郊の宿に着いた一行を、午後7時半、新宿で見送った。バスの中では、バスの運転手が、『おはようございます』と挨拶するなど、非常に親切な接客だった」と、(清藤淳報)の語るところだ。

将来の働き人が生まれる希望も

台湾の青年たちはそれぞれホームステイ先へ。ホームステイ受け入れは、向日町教会と洛北教会の人々に担つてもらつた。

翌19日の主の日の礼拝は、それぞれホームステイ先の教会へ出席。19日の午後に京都のパレスサイドホテルへ集合した。再度集まつたメンバーは、改めて自己紹介。その後、3・11の震災後の原発事故をめぐる講演を、「避難者と支援者を結ぶみんなの会」代表である西川祐子さんより聞く。

その後、レセプションがホームステイ先のホストフ

神学部を訪問。神学部チャペルにおいて水谷誠神学部長より建学の精神について聞く。台湾の青年たちからも、どんなカリキュラムで牧師になれるのかなど積極的な質問が出てきた。その後、京都市内観光。一条城から金閣寺、銀閣寺、清水寺と真夏の暑い京都市内の世界遺産を堪能する。

21日から23日は教団教育委員会も後援する「教会中高生・青年大会2012」に合流。軽井沢の恵みシャレーを会場に行われる。総参加数270名の中で、日

新宿駅で清藤淳牧師を見送った一行は、荻窪の東京基督教教会で夕食をいただいた。また、日本での台湾教会の働きについて聞き、近頃よりを共にし、東京での宿泊である韓国Y.M.C.A.に向かった。青年大会の疲れもちんのその、深夜まで交わるは続く。

その後、共に井の頭公園を散策、昼食後、中野のSCFに向かった。SCFメンバーハンドメイドのカレーライスをいただき、共に黙想の時を。御言に心傾け、祈りを共にした。また、よき交わりを深めた。

最終日は、朝食後、ユースたちによってまとめられたビデオによる8日間の振り返りをもって、デボーションのときとした。

既に、別れのつらさを徐々に感じつつ、教育委員会担当幹事である野村和正牧師の牧する長原教会へと向かった。最後の礼拝を参加者である瀧山喜代美神学

員長の祝祷によって遣わされた。礼拝後、羽田空港までを加者一同で向かい、空港でビーデモなお、別れを惜んだ。両国の歴史と、これから課題は必ずしも易しいものではない。しかし、共に「キリストと教会に仕える」台湾と日本の若い仲間たちと出会い、参加者の中から近い将来の良い働き事が生まれ出されるのではないかと、希望に満ちた夢をさせられる8日間であつた。

A black and white photograph of a group of approximately 15 young adults standing in two rows outdoors. They are all wearing dark t-shirts with a logo and text that appears to be "YOUTH LEADERSHIP". Some individuals have lanyards with ID badges around their necks. The group is diverse in gender and ethnicity. They are standing in front of a large tree and a building, with a tall, thin monument or statue visible in the background. The overall atmosphere is casual and suggests a group photo from a camp or conference.

▼間もなく収穫の秋を迎える。嫌なことばかりが続く中、殆ど唯一、楽しみに待つ出来事だ。今年は、薩摩芋、里芋、南京豆、見た目どれも順調に育っている。CSの芋掘りは盛況となるだろう。▼店頭にも秋の実りが並ぶ。そして安い。出荷するわけではないから、店頭価格は関係ない理屈だが、高いと嬉しいし、安いと損した気がする。▼お店で同じものを買い、比較する。我が庭の方が旨い。「見た目は同じでも、倍の値段・価値がある」と、にんまり。味が変わらず、一山百円だったりすると、全てが否定されたような気分になる。丹精込めたと言ふほどのはことはしていないのに。▼CSでは誰が一番大きな芋を掘り出すか

は「重さを量ってはならない」が元々の意味だ。人間の値打ちを見た目で計るな、数字に置き換えるなどいうことだ。だが私たち人間はこれが大好きで、これに縛られていける。結果、他人を裁き、自分を裁き、自滅する。

『あなたがたは、自分の量の秤で量り与えられる』…芋の品種競争は、裁く裁きで裁かれ、自分自身を裁き、自滅する。今年は止めよう。▼ところで、ピーナッツは我が家で年々品種改良してきてるもので、大きくかつ味が濃い。これを朝採りදう程だ。比較できないほど美味しい。これを値段にしたら…止めよう。

共に祈り、支えよう！  
Let us pray for and support people and the Church together!

## 「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援に向けての具体的な取り組みを日本基督教団として支援していくため、祈りと共に「東日本大震災救援募金」にご協力を下さいますよう、お願ひ申し上げます。

記

目標額 10億円（国内のみ）

期間 2011年7月1日～2015年3月31日

振替番号 00110-6-639331

加入者名 日本基督教団東日本大震災救援募金

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31  
2012年10月

教団救援対策本部長 石橋秀雄



千厩教会の模型を見る  
(白戸清奥羽教区総会副議長)

# 支えられて今を

## 奥羽教区復興支援現況報告

# 年間22回の支援委員会を開催し

## 東日本大震災から一年半を経て

柄をまとめて報告します。

### 宮古教会

教区の幹

旋により盛

と現状について報告する機

会を与えられたことも感謝

いたします。

奥羽教区常置

委員会の下に緊急支援

委員会を設置し、救援並び

に支援を継続しています。

支援委員会開催は常置委員

会と共に昨年度22回に及び

ました。当初の救援物資の

手配から、ボランティア受

け入れ調整、さらには被災

教会の信徒や教師を支える

配慮を継続しました。教会へ

の配慮（説教者派遣など）

は、現在も継続されています。

この1年半、各教会の事

務をまとめて報告します。

活動を強化しています。

教会では2012年1月

23日より牧師館の応急処置

工事を始め、礼拝堂につい

ても応急処置工事を7月に

は完了しました。

今後、計画としては教会

活動として双方了解し、教

会は活動拠点や食事準備、教

宿泊を提供し、YMCAは

活動のための人材の確保と

作業工程の調整を行い、礼

拝に出席し、そのと教会

員に対し、活動報告を毎週

行っています。

救援物資の配布は礼拝堂

を用いて実施されました

（今日でも送られてきた物

資は配布されています）。

炊出しも教会や仮設に出

かけ入られ、昨年11月3

日には仮設で運動会を計画

されました。昨年5月

中旬に入り、苦情の電話が

届き、小売業の方の立ち上

げの邪魔になっているこ

とを知らされました。教区

としては、教会の役員会に

規模の縮小と終了する時

の検討を求めて、6月末で終

了し、残り物資を8月半ば

まで配布しました。

陸前高田の仮設、大船渡

の仮設でホットカーペット

を配布し、地域の傾聴活動

と共に、韓国からの支援者

による韓国ティー（料理と舞

踊）を実施しています。

2012年3月、震災後

4月には教員会の結婚式を

挙行、5月には教会創立記

念礼拝を行いました。

最初の受洗者が与えられ、

4月50年、この間主イエ

ス・キリストの恵みが注が

れました。この教会は、

教団総会の決議による「方

式伝道」の一つである「東

北地方特別開拓伝道」によ

り伝道所が開設されまし

た。しかし教団の機構改正

が打ち切られ、その後の支

援を奥羽教区が担い続けま

した。今も、教員と歴代

幹事会での宿泊は大幅に

縮小しました。仮設住宅で

の活動は牧師に引き継が

れました。ただし教会の意

向として、避難所閉鎖を機

会に教会での宿泊を密

めました。牧師との連携を密

にして、活動が活発に続けら

れました。たしかに、この被災地

にいる人々が、この被災地

にいる人々が

(3) 2012年10月13日

# 解放は創造できる

「解放は創造できる——想像・創造・ソーザー（神は救う）」。このようなテーマを掲げた第15回部落解放青年ゼミナールが、8月21日～24日の4日間、京都の錦林教会を会場に開催された。部分参加を含め35名以上への参加があった。

今回の青年ゼミは会場が久しぶりに大阪から京都へと移動したこともあり、プログラムも新しいものを加えて練り直したりと、「例年通り」で終わらないよう努め、工夫して準備をした。全員がグループに分かれて参加する劇形式のロールプレイ

ング、フィールドワーク、像・創造・ソーザー（神は救う）」。このように想像・創造を通じて意識したのは、まず差別されるといふ（痛み）を想像してみること、そしてその想像を解放への想像へとつなげ、実際に解放を創造しようとしてみること、である。フィールドワークでは東九条や崇仁の歴史を学び、新しい街づくりへの希望をお聞きした。また、ロールプレイングでは用意された劇の台本を読むことで、あるいはグループで自由に台本を作り直すことで、そして実際



## 今総会期最後の委員会、震災を覚え祈りつつ開かれてきた

9月3日・4日、教団会議室にて37総会期最後とな  
る第7回教育委員会が開催された。8月18日～25日  
行つたユースミッション2012の開催後でもあり、  
会議全体はその内容の振り返りが中心となる。  
ユースミッションには台

台湾からの青年7名と日本から  
ら4名の青年が参加した。  
その参加者のうちの一人庵  
中佳実姉の陪席を得て振る  
返りの時を持つ。

# ユースミッショングの振り返りの時

第7回 教育委員会

プログラムであるが、教育委員会が双方に関わっていることからその関係性を深めよう。

りがなされるべきとの意見もあつた。このような豊かなプログラムがあることを誌面の確認作業を行つ。また第38回教団総会報をまとめながら、今総会開

事務局報

事務局報		教師異動		芝 八千代台		就(担)石井道夫		南 1—34—7 犬野文雄	
小牧		辞(代)森田喜之		上星川 横浜市保土ヶ谷区		方		新泉 東京都杉並区高円寺	
中京		就(主)橋口 望		上星川2—19—30		新泉 東京都杉並区高円寺		新泉 東京都杉並区高円寺	
大貫恵泉		就(担)金承哲		東京池袋辞(代)阿久戸光晴		武藏ヶ丘 熊本市北区武藏		新泉 東京都杉並区高円寺	
普通寺		就(代)橋秀紀		東京池袋就(主)山口 博		教会所在地名変更		新泉 東京都杉並区高円寺	
浪岡		就(代)長内敬一		センターバ(伝道所より)		上星川 横浜市保土ヶ谷区		新泉 東京都杉並区高円寺	
置戸		就(代)高橋伸明		伝道所開設		上星川2—19—30		新泉 東京都杉並区高円寺	
宮城学院中学・高校		就(兼主)川上清樹		常陸大宮 常陸大宮市田子		熊本白川 熊本市中央区九		新泉 東京都杉並区高円寺	
辞(教)石井道夫		就(代)秋山千四郎		内3199—5		品寺2—2—44		新泉 東京都杉並区高円寺	
新泉 東京都杉並区高円寺		辞(兼主)伊丹秀子		伝道所廢止		ケ丘6—6—1		新泉 東京都杉並区高円寺	
つくし野		常陸大宮 常陸大宮市田子		熊本草葉町 熊本市中央区		品寺2—2—44		新泉 東京都杉並区高円寺	
教会所在地変更		内3199—5		熊本城東 熊本市中央区国		熊本草葉町 熊本市中央区		新泉 東京都杉並区高円寺	
新泉 東京都杉並区高円寺		府2—6—27		府2—6—27		熊本城東 熊本市中央区国		新泉 東京都杉並区高円寺	
新泉 東京都杉並区高円寺		教会通信先設定		草葉町1—15		熊本城東 熊本市中央区国		新泉 東京都杉並区高円寺	
新泉 東京都杉並区高円寺		13—12		新泉 東京都杉並区高円寺		新泉 東京都杉並区高円寺		新泉 東京都杉並区高円寺	

有澤禧年教団出版局長

有澤禱年先生を送る

にも組織の立て直しに務めること」。

有澤禪年教団出版局長が、9月22日逝去了。体調不調を覚え、28年牧会・伝道された八尾の地に帰り入院していたが、ついに御許に召された。

出版局長辞任を申し出、退任の事務手続きに入つていたが、結果、教団総会の任期切れが迫る中、現職で亡くなつた。

出版界全体の低迷に加えて、キリスト教出版物の不振が囁かれ、教団総会、常の取材に次のように、当面の目標を述べている。「さまざまな出版局見直し論がある。まず、その是非を見極め立て直しがしばしば論議され立った。「労働牧師」を目指して、5年間の会社勤めを経験し、そこで培つた企画力を活かして、3つの教会・関連施設を建設した手腕に期待された。

局長就任2ヶ月後、新報の取材に次のように、当面の目標を述べている。「さまざまの出版局見直し論がある。まず、その是非を見極め立てるようになつた時の登板だつた。「労働牧師」を目指して、5年間の会社勤めを経験し、そこで培つた企画力を活かして、3つの教会・関連施設を建設した手腕に期待された。

この言葉からは、ショートリリーフの心つもりだつたと聞こえるが、結果4年半、激務に耐え、出版業界が依然として厳しい環境下にある中で、舵を取り、出版局との事業を守り通した。故人が挙げた当面の目標が、出版局の今後の課題でもある。



(加藤誠報)

近隣の木原葉子宣教師も現地に根をおろしている。バンクーバー邦人伝道は、これからが面白い。



(大川大地報) 第15回 実行委員長

海外に赴任した宣教師は、説教や牧会の力だけではなく、現地に浸透する力量まで試される。過酷な現場である。

坐間宣教師の場合、この点でとても大きなアドバンテージがある。神学を学んだのも、握手を受けたのも、現地の神学校と教会であるからだ。同師が赴任先のバンクーバー日本系人合同教会から受けた信頼は、大きいものがある。

近隣の木原葉子宣教師も、現地に根をおろしている。バンクーバー邦人伝道は、これからが面白い。

第4758号

(第三種郵便物認可)

上、当日の日本語礼拝出席者一同  
下、講座準備委員による讃美と踊り

# 東北アジアで神の国を証しする

◆ 第49回 ◆

◆ アンダーウッド国際学術講座 ◆

9月1~2日、第49回ア  
ンダーウッド国際学術講座  
が「主の御旨に沿う、東北  
アジア青年キリスト者の社  
会参加」を主題とし、韓国  
ソウル・セムナン教会(大  
韓基督教長老会統合派)  
にて開催された。

同講座は、韓国最初の教  
会(セムナン教会)、教育

(延世大学)、医療(セブ  
ランス病院)の礎を築いた  
宣教師の名を冠し、その宣  
教スピリットを継承すると  
の志により行われている。  
主題選定や企画・運営を青  
年が主体的に担っているこ  
とが特筆される。その後  
には牧師・長老会を中心と  
する教会全体の祈りと指  
導、支援が存する。

また東北アジアにおける  
教会青年の交わりを覚えて  
中国・日本の青年も招かれ、  
今年は12名の教会青年が日  
本から参加した。

講師として、東方敬信青  
山学院大学名誉教授、パン  
スカン建国大学校教授、ア  
ンソープ総神大学校教授  
が日中韓3か国から立てら

れた。

1日は開会礼拝後、3名  
の講演がなされた。東方氏  
は「礼拝は無限の時間と空  
間が凝縮された小宇宙、私  
たちはこの神のドラマの中  
に存在し、演じる」と語り、  
神の国を証しする社会的生  
き方を説いた。パン氏は中  
国出身の氏が夫婦揃ってキ  
リスト教信仰へ、そして現  
職へと導かれたことを証し  
し、青年が神から中国宣教  
の召命を受け取ること、ま  
た祈りつつ重要性を語  
った。アン氏はジョン・カ  
ルヴァンとアブラハム・カ  
バードの神学を参照しつ  
つ、教会の積極的な社会参  
加として、政府の不正義へ  
の批判、社会福祉活動、キ  
リスト者の政治活動の3点  
を論じた。講演後に3か国  
の青年代表が討論をし、講  
演への質疑応答も交え、主  
題理解を深めた。引き続  
いてグループ討論を行った。

2日の主日に日本からの  
参加者は午前9時30分か  
ら、セムナン教会日本語礼  
拝に出席した。講座2日目

は午後3時の第5部礼拝

(青年礼拝)から開始され  
た。ソンヨンウォン牧師が

「我々とみんなのために」

(創世記1章26~28節)と

題して説教、「三位一体の内

在的交わりにおいて存在さ  
れる神が、愛をもつて経緯  
的三位一体へと歩み出され

た。この神の愛にかたどら  
れたのが教会とキリスト者

である。3か国の教会が執  
り成し合い、一つとなって  
神の愛を証し、そこに北  
朝鮮の兄弟姉妹をも覚えて  
いくことが奨められた。

礼拝後、東方氏が「社会  
的証しのキリスト教倫理」

と題し講演、討論と質疑応  
答が行われた。

最後のプログラムは芸術  
作品発表会として、セムナ  
ン教会青年たちが讃美歌  
ラス、福音フップ、自作譜  
美歌の弾き語り、短編映画、  
福音舞踏などを通して主を  
讃美した。福音の豊かさと  
青年層の賜物の厚さを味わ  
うひとときであった。その  
後、中国と日本からの参加  
者・留学生が壇上で紹介さ  
れ、共に讃美しつつ、韓國  
の兄姉と主の祝福を交換、  
感動のあまり涙する参加者  
もあった。イスヨン・セム  
ナン教会主任牧師の祈禱に  
より、全日程を終了した。

プログラムの中では繰り  
返し「東北アジア国際情勢  
の緊張が報じられる中で、  
キリスト者が神の国を証し  
し、一致を目指して行く」  
よう祈られ、またこの講座  
を通して既にその出来事は  
始まっていると実感させら  
れた2日間であった。

(松本周報)

六 学科試験と面接試験について  
受験志願者は、直接教師検定委員会までお問い合わせください。  
提出物(説教、祭義、牧会等)締切について  
当委員会への提出締切日は、2012年12月17日(月)必着です。

五 学科試験と面接試験について  
受験志願者は、直接教師�定委員会までお問い合わせください。  
提出物(説教、祭義、牧会等)締切について  
当委員会への提出締切日は、2012年12月17日(月)必着です。

四 正教師について  
受験志願者は、直接教師�定委員会までお問い合わせください。  
提出物(説教、祭義、牧会等)締切について  
当委員会への提出締切日は、2012年12月17日(月)必着です。

三 説教(牧会)について  
①「説教」「祭義」の課題  
新約 申命記 8章2~10節  
②「説教」「祭義」の提出内容が  
異なりますので、必ず受験要綱でご確認ください。  
③補教師(CIIIコース)の牧会等の課題  
『牧会とは何か』について論述してください。

④Aコースについては、教師検定規則第4条第3項にもとづく試験が実施されます。  
同対象者は、神学校を通して説明をうけ、それ  
にもとづく手続をおこなってください。

二 正教師について  
受験志願者は、直接教師�定委員会までお問い合わせください。  
提出物(説教、祭義、牧会等)締切について  
当委員会への提出締切日は、2012年12月17日(月)必着です。

一 学科試験と面接試験について  
学科試験は2013年2月26日(火)、面接試  
験は2月27日(水)、2月28日(木)に東京・日  
本キリスト教会館ビル内(教団会議室)にて実施  
します。詳細は受験志願者に通知いたします。不  
明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。  
2012年10月13日 日本基督教団教師検定委員会

〒169-10051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31  
電話 (03) 3202-10546

日本基督教団教師検定委員会

井上 直さん

献身の思いを  
キャンバスに向けて



今総会期の2年間、この足りる  
者を尚祈りに覚え、お支え頂いたこ  
とに先ず以て感謝を申し上げたい。  
しかし7月常議員会では、議長団の  
議事設定の不十分さから、複数の重  
要案件について「提案者差し戻し」  
や「継続審議」とせざるを得ず、実  
質的に議案を不成立としてしまった  
ことに副議長として深く責任を感じ  
る。この場をお借りして関係者に心  
よりお詫び申し上げると共に、次期  
議長団の議事全般への真摯な取り組  
みを期待したい。

教団執行部に批判的な教区と教団  
との溝は、災害対策においても十分

明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。

2012年10月13日

日本基督教団教師検定委員会

岡本知之

2年間を  
振り返つて

元中国大使の方が「中国人と日本人  
人とは思考構造そのものが違うの  
だから、それを前提として出会うと  
ころからしか外交(対話)は始まらない」という趣旨のことを、昨今の  
希望を述べさせて頂いた。

(教団総会副議長 岡本知之)